

Harmony among People,
Technology, and Environment.



株主の皆様へ

第85期 営業のご報告

平成29年4月1日から
平成30年3月31日まで

CONTENTS

| | |
|-----------|---|
| 企業理念 | 1 |
| トップメッセージ | 1 |
| 連結財務ハイライト | 1 |
| 事業別の概況 | 4 |
| 連結財務諸表 | 5 |
| 会社情報 | 6 |



高圧ガス工業株式会社

証券コード 4097



高圧ガス工業グループ 企業理念

1. 「人と技術と環境の調和。無限の可能性に挑む。」という理念のもと、「創業の精神を忘れずに、アセチレンバウム（アセチレンの樹）の夢を追い求めて、限りない可能性の炎を燃やし続ける」グループ企業をめざします。
2. 「株主」及び「取引先」各位ならびに「従業員」を三位一体と考え、公正妥当な倫理基準に基づいた事業活動を通じて、社会に貢献できる経営を行ないます。
3. 全般的な経営の効率化を地道に推進し、企業体質の健全性を維持しながら、企業価値を高め、事業規模の拡大をはかります。
4. 「安全・安心をすべての基本姿勢」とし、創業以来一貫して、この姿勢を貫いております。
5. 「地域に密着した企業ブランド」を構築し、存在感のあるグループ企業をめざします。

この企業理念は、高圧ガス工業グループ企業共通の認識であり、全社一丸となって実現に努めてまいります。

トップメッセージ



取締役社長

澁谷 信雄

平素は格別のご高配を賜り有難く厚く御礼申し上げます。
当社は、本年6月26日をもちまして、創立60周年を迎えることができました。これもひとえに、株主の皆様のご支援の賜物と心から感謝申し上げます。
これからも、株主の皆様との信頼関係を構築しながら、持続的成長と企業価値の向上をはかってまいります。

連結財務ハイライト

売上高 (単位:百万円)



営業利益 (単位:百万円)



平成30年3月期の業績概況について

当連結会計年度におけるわが国経済は、堅調な米国経済や中国経済を背景とした輸出の増加による企業収益の改善が続き、設備投資や雇用環境に持ち直しの動きがみられるなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。

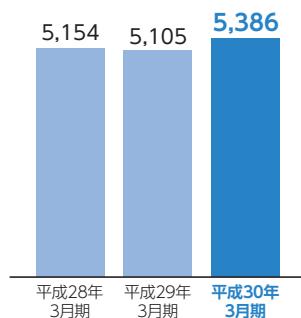
このような状況のなか、当社グループは市場が求める安全・安心な製品やサービスを供給することを基本とし、安定的な収益確保に向けた販売体制の強化や生産体制の効率化に取り組んでまいりました。その結果、当連結会計年度の売上高は799億58百万円(前期比5.1%増加)、営業利益は48億18百万円(前期比6.7%増加)、経常利益は53億86百万円(前期比5.4%増加)、親会社株主に帰属する当期純利益は32億40百万円(前期比2.5%減少)となりました。

次期の見通しと今後の取り組みについて

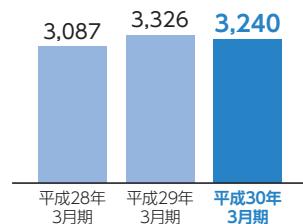
今後のわが国経済は、緩やかな回復基調が続くものと期待されておりますが、米国の政策動向、近隣諸国における地政学的リスク、原油価格や為替の変動リスクなど、不透明な状況が続くと思われま。このような状況のもと、当社グループは、「変革と挑戦」をテーマとする中期経営計画を掲げ、持続的成長と中長期的な企業価値の向上を目指した取り組みを進めております。

ガス事業は、地域に密着したシリンダーガスビジネスの強化に努めるとともに、引き続き真空浸炭向け溶解アセチレンの新規需要先の獲得や農業用炭酸ガスの普及に努めてまいります。また、新規ガスの開発、新しい用途の提案、ITを駆使したシステムの改良等による新市場の発掘に努めてまいります。

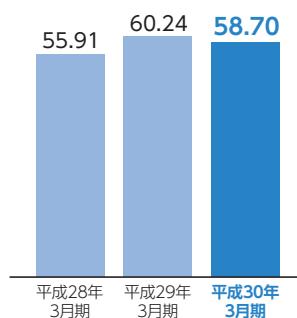
経常利益 (単位:百万円)



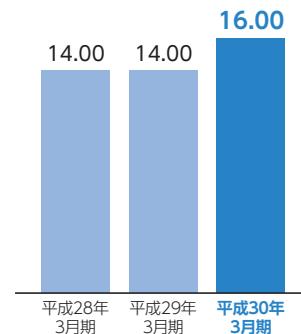
親会社株主に帰属する
当期純利益 (単位:百万円)



1株当たり当期純利益 (単位:円)



1株当たり配当金 (単位:円)



トップメッセージ

化成品事業は、ITを利用した原料・製品在庫の最適化、容器管理、物流の合理化を行ない安定供給を確保するとともに研究開発、営業開発に力を入れ、環境にやさしい製品の提供に努めてまいります。今後、国内はもとよりベトナム工場を拠点に、中国・東南アジアへの市場開拓をさらに推し進めてまいります。

その他事業は、ITソリューション事業部門において、電子ペーパーとRFタグを融合した「ディスプレイタグ」、無線機能を搭載したLSIカード、次世代高速大容量LSIカードなどを使用したシステムを積極的に販売してまいります。

次期の連結業績見通しにつきましては、売上高850億円、営業利益50億円、経常利益55億円、親会社株主に帰属する当期純利益35億円を予想しております。

平成31年3月期 連結業績予想 (カッコ内は当期比)

| | |
|---------------------|-------------|
| 売上高 | 850億円(6.3%) |
| 営業利益 | 50億円(3.7%) |
| 経常利益 | 55億円(2.1%) |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 35億円(8.0%) |

株主還元について

株主還元につきましては、株主様に対する安定的かつ継続的な配当を維持しつつ、内部留保の充実により企業体質を強化し、長期的に企業価値の向上をはかることを

基本方針とし、経営成績・財務状況・今後の事業展開などを総合的に勘案し決定しております。

当事業年度の期末配当金につきましては、1株につき普通配当金7円に創立60周年記念配当金2円を加えて金9円とさせていただきます。

平成29年12月8日に1株につき金7円を中間配当金としてお支払しておりますので、1株につき年間合計16円となります。

今後も株主様への安定的かつ継続的な利益還元に努めてまいります。

株主の皆様へ

当社グループといたしましては、中長期ビジョンの実現を目指し、引き続き「安全」・「安心」をすべての基本姿勢として、事業環境の変化に柔軟に対応できる企業体質を構築し、既存事業の拡充と新たな価値の創出に積極的に取り組むとともに、社員一人ひとりが持てる力を発揮し、輝くことができる職場風土づくりに努めてまいります。

また、グループ一体となって、企業理念、企業倫理行動指針に基づいたコーポレート・ガバナンス体制の整備と強化に真摯に取り組んでまいります。

株主の皆様方におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

事業別の概況



ガス事業

売上高 **610億16** 百万円
営業利益 **48億56** 百万円



売上高 (単位:百万円)
平成30年3月期 **61,016**
平成29年3月期 57,758

営業利益 (単位:百万円)
平成30年3月期 **4,856**
平成29年3月期 4,373

ガス事業ではシリンダーガスビジネスの収益力強化のため、積極的な投資を行ない、生産体制の合理化や物流面における効率化などを進め、地域に密着した営業を展開してまいりました。

『溶解アセチレン』は、真空浸炭向けが増加したものの、建設、土木等の現場工事向けや造船向けの需要が減少し、売上高は前期を下回りました。

『その他工業ガス等』は、窒素、アルゴン、特殊ガスが新規需要先の獲得や既存需要先の回復により増加し、LPガス等の石油系ガスが輸入価格の上昇に伴う販売価格の上昇により、売上高は前期を上回りました。

『溶接溶断関連機器』は、設備投資の機運の高まりを受け、溶接ロボットや工作機械等の需要が増加し、売上高は前期を上回りました。

『容器』は、半導体向け特殊容器等が増加し、売上高は前期を上回りました。

このほか『設備賃貸』の収入を加えた当事業の売上高は610億16百万円(前期比5.6%増加)となりました。

営業利益は、48億56百万円(前期比11.0%増加)となりました。



化成品事業

売上高 **183億49** 百万円
営業利益 **12億34** 百万円



売上高 (単位:百万円)
平成30年3月期 **18,349**
平成29年3月期 17,592

営業利益 (単位:百万円)
平成30年3月期 **1,234**
平成29年3月期 1,247

化成品事業では新しい技術の開発に注力し、環境にやさしい製品やユーザーニーズに合った付加価値の高い製品開発を行ない、国内はもとより欧米、中国、東南アジア地域に向けて、新規需要先への展開に努めてまいりました。

『接着剤』は、ペガールが新規需要先の獲得により、紙用、塗料用、粘着用に需要を伸ばし、シアノンが海外向けにコンシューマー用、医療用の需要が伸長し、ペガロックが国内向けの新規用途開発により増加し、売上高は前期を上回りました。

『塗料』は、建築用塗料が夏場以降の天候不順により減少し、エアゾール製品が新規需要先の獲得により増加したものの、売上高は前期を下回りました。

このほか『設備賃貸』の収入を加えた当事業の売上高は183億49百万円(前期比4.3%増加)となりました。

営業利益は、12億34百万円(前期比1.0%減少)となりました。



その他事業

売上高 **5億92** 百万円
営業損失 **33** 百万円



売上高 (単位:百万円)
平成30年3月期 **592**
平成29年3月期 675

営業利益 (単位:百万円)
平成30年3月期 **△33**
平成29年3月期 55

その他事業は、LSIカード関連が、鉄道事業者向けに伸び悩み、海外向け容器需要が増加したものの、売上高は5億92百万円(前期比12.4%減少)、営業損失は33百万円(前期は55百万円の営業利益)となりました。



連結財務諸表

連結貸借対照表 (要約)

(単位:百万円)

| | 第84期 (平成29年3月31日現在) | 第85期 (平成30年3月31日現在) | 増減額 |
|------|------------------------|------------------------|-------|
| 流動資産 | 44,613 | 48,416 | 3,803 |
| 固定資産 | 35,216 | 36,434 | 1,218 |
| 流動負債 | 22,795 | 24,756 | 1,961 |
| 固定負債 | 5,608 | 5,070 | △538 |
| 純資産 | 51,426 | 55,024 | 3,598 |
| 総資産 | 79,829 | 84,851 | 5,021 |

連結キャッシュ・フロー計算書 (要約)

(単位:百万円)

| | 第84期 (自平成28年4月1日 至平成29年3月31日) | 第85期 (自平成29年4月1日 至平成30年3月31日) | 増減額 |
|----------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------|
| 営業活動による キャッシュ・フロー | 5,206 | 6,538 | 1,332 |
| 投資活動による キャッシュ・フロー | △2,681 | △2,687 | △6 |
| 財務活動による キャッシュ・フロー | △1,982 | △853 | 1,129 |
| 現金及び現金同等物 の期末残高 | 16,181 | 19,176 | 2,995 |

連結損益計算書 (要約)

(単位:百万円)

| | 第84期 (自平成28年4月1日 至平成29年3月31日) | 第85期 (自平成29年4月1日 至平成30年3月31日) | 増減額 |
|---------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|--------|
| 売上高 | 76,027 | 79,958 | 3,930 |
| 営業利益 | 4,515 | 4,818 | 302 |
| 経常利益 | 5,105 | 5,386 | 280 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 3,326 | 3,240 | △85 |
| 1株当たり当期純利益 | 60円24銭 | 58円70銭 | △1円54銭 |

期末配当

期末配当金は当社普通株式1株につき金7円に創立60周年記念配当金2円を加え金9円となりました。

期末配当金 1株につき金9円 総額496,844,523円

支払開始日 平成30年6月29日

(注)記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

会社情報

会社概要 (平成30年3月31日現在)

| | |
|-------|---|
| 商号 | 高圧ガス工業株式会社 |
| 設立 | 昭和33年6月26日 |
| 資本金 | 28億85百万円 |
| 従業員 | 825名 |
| 本社 | 大阪市北区中崎西二丁目4番12号 (梅田センタービル28階) 電話06(7711)2570(代表) |
| 東京事務所 | 東京都千代田区内幸町一丁目2番1号 (日土地内幸町ビル9階) 電話03(3595)3128(代表) |
| 営業所 | 16カ所 |
| 出張所 | 11カ所 |
| 工場 | 15カ所(ガス事業) 3カ所(化成品事業) |

役員 (平成30年6月28日現在)

取締役

| | | | | |
|----------------|---------|--------|--------|--|
| 代表取締役 取締役会長 | 竹内 弘 幸 | | | |
| 代表取締役 取締役社長 | 澁谷 信 雄 | | | |
| 専務取締役 | 説田 和 洋 | 黒木 幹 也 | | |
| 常務取締役 | 杉岡 孝 雄 | | | |
| 取 締 役 | 谷屋 五 郎 | 森本 孝 | 森田 和博 | |
| | 池田 佳 弘 | 福井 正 郎 | 吉高 紳介* | |
| | 笹野 哲 郎* | ※社外取締役 | | |

監査役

| | | | | |
|-------|--------|-------|-------|--|
| 常勤監査役 | 松井 良 祐 | | | |
| 監 査 役 | 狩野 仁* | 山本 学* | 山崎 勇* | |
| | ※社外監査役 | | | |

執行役員

| | | | |
|------|--------|--------|--------|
| 執行役員 | 大北 隆 行 | 荒木 淳 支 | 片岡 一 夫 |
| | 平田 恭 清 | 玉野 光 樹 | 磯田 光 功 |
| | 野杵 達 也 | 津崎 幸 一 | |

会計監査人

有限責任監査法人トーマツ

株式の状況 (平成30年3月31日現在)

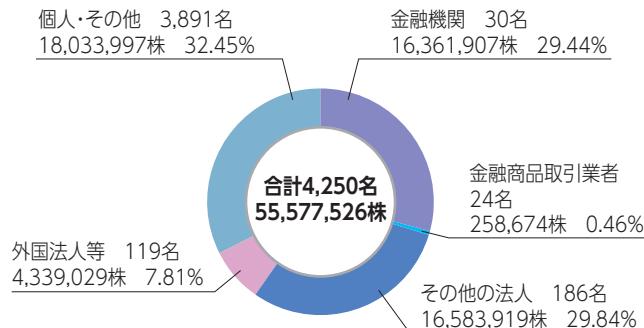
| | |
|----------|--------------------|
| 発行可能株式総数 | 100,000,000株 |
| 発行済株式総数 | 55,577,526株 |
| 株 主 数 | 4,250名(前期末比212名減少) |

大株主 (平成30年3月31日現在)

| 株主名 | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|--|---------|---------|
| こうあつ共栄会 | 6,908 | 12.51 |
| デンカ株式会社 | 6,906 | 12.51 |
| 共栄火災海上保険株式会社 | 4,003 | 7.25 |
| 太陽日酸株式会社 | 3,142 | 5.69 |
| みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社 | 2,717 | 4.92 |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行 | 2,471 | 4.47 |
| 高圧ガス社員持株会 | 1,637 | 2.96 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 1,446 | 2.62 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 1,033 | 1.87 |
| 北陸工業瓦斯株式会社 | 886 | 1.60 |

(注) 1. 持株比率は、自己株式(372,579株)を控除して算出しています。
2. 株式会社三菱東京UFJ銀行は、平成30年4月1日付で株式会社三菱UFJ銀行に社名変更しています。

所有者別株式分布状況 (平成30年3月31日現在)



株主メモ

事業年度末日 毎年3月31日
定時株主総会 毎年6月
定時株主総会基準日 毎年3月31日
剰余金配当基準日 期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
上場証券取引所 東京市場第1部
1単元の株式の数 100株
株主名簿管理人 〒100-0005
(特別口座管理機関) 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部

お問い合わせ先 〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部
電話(通話料無料) 0120-094-777

手続き用紙のご請求 住所変更や配当金振込先のご指定など、株式に関する諸手続きに関しましては、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

ご所有の株式を特別口座にて管理している株主様につきましては、特別口座管理機関である三菱UFJ信託銀行(上記の「お問い合わせ先」)にお問い合わせください。なお、一部の書類については三菱UFJ信託銀行のホームページ<https://www.tr.mufig.jp/daikou/>から取り出し、請求することができます。

公告方法 電子公告
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
公告掲載URL
<http://www.koatsugas.co.jp/>



当社Webサイトで各種情報を公開しております。ぜひご覧ください。

<http://www.koatsugas.co.jp/>

高圧ガス工業



高圧ガス工業株式会社

大阪市北区中崎西二丁目4番12号(梅田センタービル28階)
電話 06(7711)2570(代表)
<http://www.koatsugas.co.jp/>

